

令和7年度

これからの農業を考える

農業をめぐる環境が大きく変わる中で、農業を稼げる産業とすることは、地域の活力を創造するためにも不可欠です。この研修では農業の更なる成長に必要な異業種連携による資源・技術・知見等の活用、スマート農業の推進等について、講義や先進事例を通して学び、これからの農業について考えます。

研修の ポイント

- 日本の農業の現状と課題について学びます。
- 魅力ある農業経営、最新技術の活用など、様々な視点から農業をどのように活性化していくのか考察します。
- グループ討議を行い、戦略的に施策を企画・実施していく力を養います。

開催要領

日 程

令和7年12月1日(月)～12月3日(水) (3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所

JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

- ・農業振興に関わる市区町村等職員
- ・農業委員会の委員・事務局職員
- ・自治体と協働して農業振興を行うNPO職員、農業協同組合等の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申込みください。

募集人数

50人

募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修)

※外泊はできません。

経 費

11,750円

左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和7年10月16日(木)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。

議員の方は、議会事務局を通じてお申込みください。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] https://www.jiam.jp

令和7年
12月
1日(月)

- 11:00～

入寮受付・昼食
- 12:30～

開講・オリエンテーション
- 13:00～15:35

講義

持続可能な農業と将来展望

東京都市大学環境学部 教授
サウス・オーストラリア大学 連携研究教授 木下 幸雄 氏

農業を取り巻く課題や政策、世界の食料事情等をふまえて、農地資源や人的資源の持続的管理の重要性とともに、市場拡大の観点から農業の成長可能性について、ご講義いただきます。
- 15:50～17:00

講義

スマート農業の現在地と未来地図

株式会社日本総合研究所創発戦略センター チーフスペシャリスト 三輪 泰史 氏

スマート農業の現状と今後の展望、中山間地域の実情に沿ったスマート農業の活用策など、最新情報と事例を交えながらご講義いただき、どのように活用すべきか考えます。
- 17:10～17:40

意見交換

事前課題を活用しながら、受講者同士の意見交換を通じて、自分たちの自治体で取り組めることについて理解を深めます。
- 18:00～

交流会

夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和7年
12月
2日(火)

- 9:00～9:20

事例紹介

事前説明

龍谷大学社会学部コミュニティマネジメント学科 准教授 坂本 清彦 氏

演習に向けて、事例紹介の注目点や講師の考え方を共有いただきます。
- 9:20～10:10

事例紹介

農の入り口をつくる

～農業を始める人が地域に根づくまで～

有限会社かみなか農楽舎 取締役 八代 恵里 氏

(有)かみなか農楽舎における新規就農支援の体制、就農までのステップ、就農後のサポート対策に加え、関係機関との連携における要点についてご紹介いただきます。
- 10:20～11:10

事例紹介

現場と行政がつなぐ、持続可能な地域づくり

株式会社のらのらふぁーむ 代表取締役社長 高野 珠美 氏
東御市産業経済部農林課 課長 重田 雄一 氏

(株)のらのらふぁーむにおける荒廃農地の再生、地域ブランドの創出、農泊・体験型観光の展開などについて、経営と行政の立場からご紹介いただきます。
- 11:20～12:10

事例紹介

実践事例に学ぶ地域ブランド戦略

特定非営利活動法人SCOP 理事 鷲見 真一 氏

地域の自然や文化を活かしたブランド戦略の構築支援や多様な業界との協働促進について、実践的な成功事例を交えてご紹介いただきます。
- 13:10～14:10

演習

事例紹介のまとめと振り返り

龍谷大学社会学部コミュニティマネジメント学科 准教授 坂本 清彦 氏

事例紹介の要点を整理し、自身の自治体に照らし合わせて考えることで、演習の理解と主体性を高めます。
- 14:25～17:00

演習

実践ワークショップ ～地域の未来を耕す～(グループ討議)

龍谷大学社会学部コミュニティマネジメント学科 准教授 坂本 清彦 氏

これまでの講義や事例紹介を踏まえながら、「稼ぐ観光戦略」の企画案をグループで検討していきます。

令和7年
12月
3日(水)

- 9:25～12:00

演習

発表・講評

龍谷大学社会学部コミュニティマネジメント学科 准教授 坂本 清彦 氏

討議結果を発表し、講師からの講評をいただくとともに、今後の地域農業振興と地域活性化に向けた施策の企画・実施の手法について理解を深めます。
- 13:00～14:10

演習

まとめ・総括

龍谷大学社会学部コミュニティマネジメント学科 准教授 坂本 清彦 氏

演習のまとめ及び3日間のふりかえりを行うとともに、講師から総括的な講義をいただき、これからの農業について考えます。
- 14:10～14:40

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講